

鎌健第1744号
令和3年2月10日

鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会委員 各位

鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会
会長 石川 宏貴

令和2年度第2回鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会（書面開催）
のご報告

日頃より、保健行政の推進に格別の御高配を賜り、ありがとうございます。
さて、令和2年度第2回鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会（書面開催）の結果
について下記のとおりご報告いたします。

記

1 会議成立の確認

- 委員数 10名
- 提出数 10名

2 議題

- (1) 「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について
承認10、反対0
- (2) 食育推進部会における令和2年度事業実績及び令和3年度事業（案）に
ついて
承認10、反対0
- (3) 歯と口の健康づくり推進部会における令和2年度事業実績について
承認10、反対0
- (4) 「第3次いきいきプラン・健康かまがや21（案）」について
承認10、反対0

【結果】

すべての議案について、全会一致で承認されましたのでご報告いたします。
また、いただいたご意見及びご質問につきましては、別紙にて回答を記載し
ておりますので、ご確認ください。

令和2年度第2回鎌ケ谷市健康づくり推進協議会（書面開催）
におけるご意見及びご質問について

【ご質問①】

1つ1つに関してはよく検討されていると思いますが、資料5の16ページ<課題>の「社会全体で市民の健康を支える環境の整備」の具体例を教えてください。

【回答①】

具体例としましては、計画書33ページ【鎌ケ谷市の取組】〔2-3〕に掲載しております、「高齢者の健康づくりのため、他課と連携し、保健事業と介護予防の一体的な推進や地域包括ケアシステムにつながる体制づくり」が挙げられます。

【ご意見①】

第3次いきいきプラン・健康かまがや21は令和3年からの6年間ならば、令和3年、4年はまだ新型コロナウイルスの影響が残っていると思います。感染症対策や自殺者の増加について書いた方が良いのではないのでしょうか。

もう一つ、今後5～10年の大きな課題であり、多くの人の参加が必要な健康づくりの一つである地域包括ケアシステム構築について書いた方が良いのではないのでしょうか。

【回答①】

・新型コロナウイルス感染症について

今回のご意見を受け、新型コロナウイルス感染症について、計画書の42ページ（5）疾病予防冒頭部分/47ページ【鎌ケ谷市の取組】〔3-4〕「状況に合わせて」を追記いたしました。

自殺者の状況については、80ページの（4）生きることへの促進要因への支援【現状・課題】に追記いたしました。

・地域包括ケアシステムの構築について

地域包括ケアシステムについては、高齢者支援課が主となり実施することを位置付け現在進めていることから、「鎌ケ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に明記しております。また、健康増進計画の関連計画である、「地域福祉計画」「障がい者計画、障がい福祉・障がい児福祉計画」にも地域包括ケアシステムについて記載し、関係課で連携して対応しているところです。

【ご意見②】

第1回の(案)と比べるとわかりやすい文章、文言、更に用語解説も加わり、読みやすくなりました。また、数値目標も第二次計画の評価が好ましくなかったために「プラス1パーセント」で提示されていたようでしたが、今回は増加の数値になっており、または現状維持という表現もあり、長い目で支援していくには、大切な目標値かと思えます。コロナ禍での対応も加えるなど、大変な作業だったと思えます。計画書49ページ、70ページの表中の文字が小さいと思えました。

【回答②】

49ページ、70ページの表につきましては、見やすくなるよう改善させていただきます。